

平成29年5月23日(火) 10:00～  
大田スタジアム

第88回都市対抗野球大会 東京都二次予選  
1回戦

VS

JR東日本

1点を先制された直後の2回、先頭の5番・大野がヒットで出塁するが続く6番・泉澤の打席に盗塁失敗で1死無走者となってしまふ。しかし、その次の球を泉澤がレフトへ同点ホームラン！試合をふりだしに戻す。

先発の古田は4回から7回までは1人の走者も許さない完璧な投球で見方の反撃ムードを高める。しかし同点に追いついた直後の8回、2つの四死球で2死1、2塁のピンチを招くと、3番に2ストライクと追い込みながらも左中間に2点タイムリー2塁打を打たれ勝ち越しを許してしまう。

9回、先頭の9番・井村がレフトへの2塁打を放つと続く1番・島田の外野フライで1死3塁とし2番・宮川の内野ゴロの間に1点を返す。しかし反撃もここまで、4-7で敗れた。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	3	0	0	1	0	0	0	1	5
	得点	0	1	0	0	2	0	0	0	1	4
JR東日本	安打	1	0	0	0	2	3	1	0	X	7
	得点	1	0	0	0	2	3	1	0	X	7

先発の古田は初回、簡単に2アウトを取るが、2死無走者から3番にライトへ先制ホームランを浴び、1点を先制される。しかし2回以降は立ち直り4回までの3イニングスを完璧に抑える。

勝ち越した直後の5回、先発の古田は2死3塁から9番にレフトへ痛恨の同点2ランホームランを浴びる。6回から2番手として大久保が登板するが、3番にこの試合2本目のホームランを打たれ2点を勝ち越される。その後もヒットとエラーでピンチが広がり3番手として三宮が登板するが、犠牲フライで1点を失い3点差とされる。

7回、3番手の三宮がさらに1点を失ったところで4番手・上田にスイッチ、無失点に抑える。8回からは5番手・小林が登板、三者凡退に抑えて最終回の味方の反撃を待つ。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	犠飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁						
1	5	島田	八王子支社	5	5	0									0.000
2	8	宮川	上野支社	5	3	0				1				2	0.000
3	7	竹内	町田支社	2	2	0									0.000
	H→7	増野	川崎支社	3	1	1			1	2				2	1.000
4	3	加藤	八王子支社	5	5	0									0.000
5	DH	大野	池袋支社	4	4	1	1								0.250
6	9	泉澤	武蔵野支社	4	3	1				1	1			1	0.333
7	2	道端	丸の内支社	4	4	1	1								0.250
8	6	吉田	総合法人第五部	4	3	0								1	0.000
9	4	新城	新宿支社	3	1	0							2		0.000
	4	井村	東京マーケット開発部	1	1	1		1							1.000
計				40	32	5	2	1	1	1	4	0	2	6	0.156

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	古田	立川支社		5	19	80	3	3	1	3	3	5.40
2番手	大久保	立川支社	×	0 0/3	4	17	2	0	1	3	2	#DIV/0!
3番手	三宮	横浜支社		1 2/3	9	39	2	1	2	1	1	5.40
4番手	上田	立川支社		1/3	1	3	0	0	0	0	0	0.00
5番手	小林	上野支社		1	3	8	0	1	0	0	0	0.00
計					8	36	7	5	4	7	6	6.75